

別記

第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事	2017年 7月28日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 〒 620-0853 京都府福知山市長田野町1丁目48番地	氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) ユアサ化成株式会社 代表取締役社長 高間 徹郎

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001
適 用 範 囲	京都長田野事業所
導 入 年 月 日	平成 16年 1月 9日
認 証 番 号	JQA-EM3666
基 本 方 針	原材料やエネルギーの効率的な利用と資源のリサイクル並びに環境汚染の予防、地域及び地球環境の保全に努め、継続的な改善を図る。また、法、条例、協定などの環境規制を順守する事はもとより、当事業所が同意したその他の要求事項を順守し、自主管理基準を設定して環境管理レベルの向上を図ります。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	① 製造工程における原材料の廃棄率(廃棄量kg/原材料投入量kg)を削減する ② 製造工程における原材料のリサイクル率(リサイクル量kg)を削減する ③ ABSセパレータの不良セパレータの廃棄を削減する ④ 業務の改善を実施する(2016年度に5件以上改善実施する)
目標を達成するための取組の内容	成形課原材料廃棄率は年度目標は未達でした。要因としては、生産が少量・多品種となった事によります。セパ膜製造課の廃棄率削減目標達成しました。2016年度から生産高(標準原価)対比での廃棄率をEMPで管理することとします。リウム製造課は下期目標は未達成となりましたが当初の年度目標は達成しました。：下期悪化要因としては原材料(粉入りPP)の影響を受けたことによるものです。製造部門は、省エネを含む改善を各課計画通り実施しました。品質保証課の環境貢献提案については2件の提案を実施しました。
目標を達成するための取組の進捗状況	① 製造工程における原材料の廃棄率(廃棄量kg/原材料投入量kg)を削減については二部門で取り組む。その他は各部門ごとで環境管理プログラムにて進捗。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	成形課原材料廃棄率においては年度末単月では達成できているものの年度目標としては未達成。その他の部門は計画どおり進行し、目標達成。
事業活動に係る法令の遵守の状況	ISO14001のシステム上は適時関連部署にて届出、報告等を実施し、環境管理責任者が年3回の順守状況を確認し経営者への報告実施。現状では届出及び報告事項を含め適正に実施。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	2016年12月 ISO14001:2015移行審査を受審し、マネジメントシステムが有効であると判定された。環境方針等の変更はなし。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。